

平成〇〇年〇月〇日

〇 〇 様

間取りの提案書



 **ハウス設計**

代表 梶元博文(一級建築士)

〒 885-0051 都城市蔵原町4-3

電話・FAX 0986-77-2147

e-mail info@house.9syu.net

U R L <http://house.9syu.net>

〇〇様邸 間取りの提案

1 設計への要望事項（ヒアリングシートから）

（1）生活スタイル

- ① 団らんの過ごし方 畳で寝転んだりソファでゆっくりくつろぎたい。
ウッドデッキや庭でバーベキューがしたい。
- ② 食事の仕方 ダイニングテーブル
- ③ 来客 両親が週に1回 友人が月に1回
接客の場所 和室又はリビング

（2）構造及び外観

- ① 木造2階建ての40坪前後
- ② 和風モダン
- ③ 太陽光パネル設置予定

（3）重視するポイント

- ① 全体的に明るく、風通しがよい家
- ② 自然と集まれるウッドデッキと一体感のあるリビング
- ③ 収納力ある家

（4）部屋別要望

- ① 玄関 ～ 大切なお客様を迎えるのにふさわしい広めの玄関。
土間収納（1畳ぐらい）が欲しい。
- ② 洗面脱衣室 ～ 多めの収納。
- ③ 室内に洗濯物が干せるスペースが欲しい。
- ④ 台所 ～ 対面キッチンにしたい。
収納多め。
キッチン付近に作りつけの机（子供の勉強）が欲しい。
- ⑤ 子供室 ～ 子供室は小さい時には共用して将来は仕切る。
- ⑥ 寝室 ～ ウォークインクローゼット付き。
布団が干せるようにしたい。
- ⑦ LDK ～ ワンルームでありながら、リビングは独立。
- ⑧ 和室 ～ リビングに付属し、客間としても使えるようにしたい。
- ⑨ 車庫から使える物入が欲しい。

（5）外構の要望

- ① 駐車スペース ～ 車2台分を確保したい。
車庫から玄関まで雨に濡れずに入出りできるようにしたい。
- ② ウッドデッキが欲しい。
- ③ プライベートな庭が欲しい。

2 コンセプト

家族が集まりやすく、快適に過ごせる家

～ ウッドデッキがあり、光と風を取り込む家 ～

3 外観

寄せ棟の和モダンな家

4 間取り設計のポイント

(1) 配置計画

① 駐車スペースは庭を確保するために縦列駐車にする。

② 南側にプライベートな庭が確保できるように建物は北側に配置する。

(2) 全体の計画

① 採光と風通しを良くするためにコの字型プランにする。

建物をコの字型にして多くの光と風を取り込む。

コの字で囲まれたスペースをウッドデッキとして、室内外が一体となった空間を造る。また、コの字型にすることで内に開いたプライベートな庭が確保できる。

② 家族が集まりやすくする。

家族が集まりやすく、いつも家族の気配を感じられるようにするために住宅の中心にLDKを設け、2階にはセカンドリビングとしてのファミリーールームを設ける。

③ ブロックプラン

1階はパブリックスペース、2階はプライベートスペースとし、サニタリースペースはキッチンとの関係を重視し1階とする。また、玄関は駐車スペースとの関係を考慮し、南東の位置とする。

④ 家事作業

日頃の家事作業で最も大変な家事の一つである洗濯の動線を合理的にする。

即ち、洗濯⇒干す⇒取り込む⇒畳む（アイロンを掛ける）⇒収納する という動線を単純にかつ短くする。具体的には、料理しながら、洗濯や子供の入浴の世話等ができるように、キッチン、脱衣、洗面、物干し場を繋ぐ。

(3) 各室の計画

① 玄関 土間収納を設けることで、すっきりとし、広く感じさせる。

② LDK ワンルーム的にして広く感じさせる。

・リビングは落ち着きを出すために独立した空間にするとともに、南北の庭と一体感が出るように開放的にして広く感じさせる。

・リビング、ダイニングはウッドデッキと連続させる。

・ダイニングに子供が宿題などができる机を設ける。

・キッチンは対面タイプとし収納スペースを多く設ける。

・生ゴミの処理がしやすいように勝手口をキッチンに設ける。

- ③和室 リビングに付属させ、来客のために直接玄関から入れるようにする。
- ④寝室 子供室とはファミリールームを挟むことで互いのプライバシーを確保する。また、ウォークインクローゼットを設け、バルコニーに布団が干せるようにする。
- ⑤子供室 子供室には融通性を重視するために、敢えて造り付けのクローゼットは設けず、模様替え等が自由にできるようにする。また、将来は簡易間仕切りで仕切れるようにする。
- ⑥ファミリールーム デスクコーナーにパソコン等を置くことで家族全員がセカンドリビングとして集まれるようにする。また、将来、家族が増えた場合に融通がきくようにする。
- ⑦納戸 寝具類の他、押入等の収納スペースに入りきれない物（節句の道具など）を収納するために納戸を設ける。
- ⑧家事室 家事室を設けることで キッチン⇒リビング⇒洗面脱衣⇒家事室 と回遊できる動線にする。また、雨の日や花粉対策にも便利なように室内物干し場にも使えるようにする。
- ⑨浴室 バスコートを設けて入浴が楽しめるようにする。

(4) 外構計画

- ①敷地全体を有効に活用するために、庭の性質（前庭、アプローチ、主庭、サービスヤード、バスコート、眺める庭等）に応じて外構計画をする。
- ②外部からのプライバシー防止のために内に開かれた間取りにする。ただし、周囲の景観を配慮して塀等は設けず、道路から緑を楽しめるようにする。
- ③駐車スペースには屋根を設け、雨に濡れずに出入りできるようにする。

(5) 面積

敷地面積	183.63 m ²	55.55 坪
建築面積	132.49 m ²	40.07 坪
1階床面積	69.56 m ²	21.04 坪
2階床面積	62.93 m ²	19.03 坪
延べ床面積	132.49 m ²	40.07 坪



配置図兼1階平面図 S : 1 / 100



2階平面図 S : 1 / 100



外観パース 1



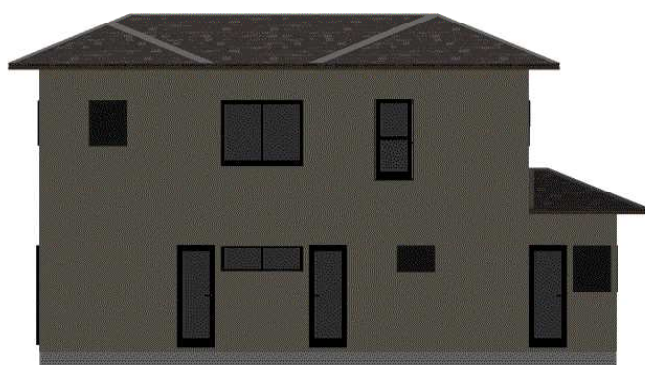
外観パース 2



南立面图



東立面图



北立面图



西立面图



鳥瞰パース



DK室内パース